



上野 ひでかず

確かな未来・子どもたちのために

第 20 号 2016 年 4 月 15 日
発行 兵庫県議会議員
上野ひでかず (辻川) 事務所
神崎郡福崎町西田原 1212 番地 4 2F
TEL/FAX 0790 - 22 - 6805
E-mail kanzaki.gun@gmail.com
ホームページ <http://www.kanzaki-gun.org>

◆第330回臨時兵庫県議会

●一般会計 428 億 7,600 万円増額・・・神崎郡関係で、駒が岩（柳田國男河童伝説）河川整備、
県道西脇八千代市川線舗装、県道長谷市川線舗装等の予算確保。

第 330 回臨時兵庫県議会は、国の補正予算を受けて平成 28 年 2 月 1 日に開催されました。その中身は、1. 子育て・介護環境の整備。2. 地域創生の展開として、①「ものづくりひょうごの創出」、②「平成の御食国ひょうごの食文化」、③「ひょうご五国 + α を生かしたツーリズムの展開」、④「ひょうごで働こうプロジェクト」、⑤「小さな集落からの地域創生」、3. TPP 関連農林水産業対策、4. 防災・減災対策、5. 人事委員会勧告に基づく給与対策等により、一般会計で 428 億 7,600 万円の増額、公営企業会計で 6 億 2,800 万円の増額補正を可決しました。



●多子世帯保育料軽減

国の子育て支援関係補正予算を受けて、与党 3 会派（自民・公明・民主）幹事長・政調会長で、知事に対して多子世帯等に対する保育料軽減助成支援策の申し入れを行いました。

その結果新年度より、

国は、年収 360 万円未満世帯の第 3 子以降の子供に対して、年齢制限を撤廃して無料にします。

県は、年収 520 万円未満世帯の第 3 子以降の子供に対して、3 歳児未満に 5,500 円、3 歳児以上に 4,000 円助成してきたものを、年収 360 万円以上 640 万円未満世帯に対して、3 歳児未満に 5,500 円、3 歳児以上に 4,000 円助成します。第 2 子に対して国は、保育料を 1/2 に軽減します。県は、年収 360 万円以上 640 万円未満世帯の 3 歳児未満に 4,500 円、3 歳児以上に 3,000 円助成します。



◆第 331 回定例（2・3 月）議会・・・代表質問を行う。（ホームページを見て下さい）



第 331 回定例兵庫県議会は、平成 28 年 2 月 18 日から 3 月 24 日までの 36 日間にわたり開催され、平成 28 年度関係一般関係予算をはじめとする予算関係 21 件、行政不服審査法の施行に関する条例、産業立地の促進による経済及び雇用の活性化に関する条例の一部を改正する条例、公衆に著しく迷惑をかける暴力的不良行為等の防止に関する条例の一部を改正する条例をはじめとする条例関係 24 件、株式会社北摂コミュニティ開発センターに対する出資、第 3 次行財政構造改革推進方策の変更をはじめとするその他 10 件、副知事の選任の同意

をはじめとする**人事案件3件**、**平成27年度関係一般会計補正予算（第2・3号）**をはじめとする**補正予算関係25件**、**県民緑税条例の一部を改正する条例**、**本人確認情報の提供、利用及び保護に関する条例等の一部を改正する条例**をはじめとする**条例関係6件**、**ひょうご農林水産ビジョン2025の策定**、**兵庫県地域創生戦略の変更**をはじめとする**その他12件**、**議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例（議員報酬引下げ）**など**議員提出議案3件**を可決しました。

また、**請願「精神障害者に対する交通運賃割引制度の適用を求める意見書提出の件」**、「**難病・疾病対策の充実を求める意見書提出の件**」2件が採択されました。

意見書については、「**福祉人材の確保対策の強化を求める意見書**」、「**民間及び自治体の非正規雇用労働者の処遇改善を求める意見書**」、「**大学生等への公的な給付型奨学金制度の創設を求める意見書**」等10件が提出となり、**北朝鮮による度重なるミサイル発射に抗議する決議**が採択されました。

◆平成28年度予算総額3兆3,352億円!

一般会計	1兆9,495億円	プラス1.4%
特別会計	1兆1,949億円	▲7.4%
企業会計	2,088億円	▲0.6%
総額	3兆3,352億円	▲2.0%



●井戸知事・・・「多様性と連携」で、未来を拓く兵庫県創生に挑む!

提案説明（要約）

人口減少や東京一極集中が進む日本の将来危機感を示し、「人口が減る中でも、少子高齢化が進んでも、活力を保ち、将来への希望を持てる地域の実現が求められている」と指摘。

その対策として、世界を視野に、将来を見据え、兵庫の強みを生かし、これまで以上に市町と協調し、地域と地域、人と人を連携させて、兵庫の総合力を高める。この「**多様性と連携**」で**未来を拓く兵庫創生に挑む**。

重点施策の「地域創生」では、人口の自然増対策として、市町単位に男女の出会いを支援する窓口の設置、特別養子縁組の推進、保育料の軽減を図る。社会増対策では空き家活用による移住促進、オールドニュータウンの再生、内外企業の立地促進などに取り組む。

「**地域の元気づくり**」では、中小企業向けの制度融資枠を3,500億円に拡大、神戸ビーフ、丹波の黒大豆など兵庫のブランドの輸出拡大、県立学校の特色化、オリンピックの事前合宿の招致などを進める。さらに、神戸市と取り組む三宮の再生や、空き店舗の活用など商店街の活性化を盛り込んだ。

これらの地域創生戦略を推進するうえで欠かせない「**安全基盤の整備**」に関しては、南海トラフ地震対策として、防潮堤の沈下対策や防潮水門の整備、建築物の耐震化、日赤兵庫県支部が三木防災センターで進めている災害救護拠点の政治支援、県立大学大学院に減災復興政策研究科（仮称）の開設準備を行う。

「**安心生活**」では、へき地病院への医師の派遣強化、地域住民が家事援助や配食サービスを行う安心地区の取組促進、市町の認知症相談センターと医療機関との連携強化、G7保険大臣会合の開催などのほか、関空・伊丹に神戸空港を含めた3空港一体運用を求めていく。

「**財政面**」では、行財政構造改革に触れ、「国の中長期の経済財政に関する試算に従い税金や交際費、社会保障関係費等の伸びを見込み、歳入歳出を試算したところ、財政フレームに示した2030年度の収支均衡は達成できる」という見通しを明らかにした。

最後は、昨年度のラグビーワールドカップで日本代表を率いたエディ・ジョーンズ前ヘッドコー

チの徹底した「強みを把握し、伸ばす」チーム作りを例に引き、「地域づくりも同じものがある。圧倒的に際立った個性でなければ、本物の強みにはならない」と指摘。「地域創生を実現する力は、ふるさと兵庫を愛する一人ひとりの力の総力。知恵を絞り、一味違う兵庫の魅力を地域、地域で作り上げよう」と呼びかけられました。またその中で、**峰山高原のスキー場建設は、地域創生の最たるものと述べられました。**

● 2月24日代表質問項目

1. 平成28年度当初予算案の基本的認識について
2. 自治体病院の県立病院化等について
3. 障害者差別解消法施行を受けた具体的取組について
4. 農業の強化策について
5. 教育の機会均等に向けた奨学金制度の改善について
6. 成熟した民主主義醸成のためのシチズンシップ教育の推進について
7. 安全・安心の警察について
 - (1) 信号機のスクラップ・アンド・ビルドによる交通安全の確保について
 - (2) 欠員解消による安心の確保について

I 中播磨の魅力を活かした交流の地域づくり

【一部省略】（ふるさと：ふるさと創生推進費）

1 中播磨各地の魅力発信

姫路城グランドオープン、夢前スマートインターチェンジの開通などにより、国内外から観光客等の来訪が大幅に増加していることから、外国人旅行者へのおもてなしを強化するとともに、中播磨各地の多様な魅力を積極的に発信することにより、姫路から中播磨各地への人の流れを活性化させる。

(1) 播磨広域観光・インバウンド観光の推進【新規】

(ふるさと) 14,550千円 (H27補正) 10,000千円

冬の大河内高原の魅力創出、家島の着地型観光推進等の取り組みや、姫路城など銀の馬車道沿線の多様な地域資源、さらには隣接する竹田城跡、城崎温泉、淡路島などをストーリー性のある魅力的な広域観光ルートとしてつなぎ、国内外の旅行会社や個人旅行者に向けてダイレクトに情報発信することにより、中播磨への誘客促進にはずみをつける。

① 「Himeji Castle-Gin No Bashamichi-Kinosaki Onsen」ルートの形成

2020年のオリンピックイヤーに向け、銀の馬車道の姫路城、竹田城も含めた戦国時代からの歴史的背景や、フランス技師との交流に係るストーリー等を積極的に発信し、城崎温泉、京都、大阪とを結ぶ広域観光ルートとして提案する。

- ・ インフルエンサー（著名なデザイナー等）によるブランド戦略の立案
- ・ 海外旅行博への出展

② 「旅行会社向け播磨ツーリズム素材集」の制作・提供

観光ルートとあわせて、団体旅行の企画・実施に必要な周辺情報をまとめて提供し、旅行会社による新たな旅行商品造成を促進する。

- ・ 掲載内容：まち歩きや体験プログラム、食事・休憩スポット、施設詳細（収容人数、大型バス駐車場、温水洗浄トイレ、外国人対応の有無等）

③ 外国人旅行者へのおもてなし強化

SNSを活用した外国人旅行者向けの情報発信や、外国人旅行者目線でのおもてなし環境の課題調査及び解決策の検討を行う。

- ・ 情報発信：トリップアドバイザー、インスタグラム等での発信
- ・ 調査項目：交通手段(タクシー、レンタカー)、宿泊施設、案内板等

④ ストーリーを巡る旅のプロモーション

銀の馬車道の歴史的な物語、ロケ地や産業ツーリズムなど、テーマ性・ストーリー性あふれる広域観光ルートを旅行会社やマスコミに積極的に情報発信することにより、姫路城を拠点とした播磨ツーリズムエリアを形成する。

- ・ 旅行会社、マスコミ向け招聘ツアーの実施
- ・ 旅行会社、マスコミの個別視察、取材への対応及び取材費支援
- ・ ツーリズム EXPO ジャパン等の旅行会社向け商談会への参加
- ・ 旅行ブロガーの募集

(2) 冬の大河内高原魅力創出プロジェクトパートⅡ (ふるさと) 5,000 千円

冬の大河内高原の新たな観光資源の開発や、イベント・プロモーションの充実を図るとともに、峰山だけでなく砥峰とも連携した事業展開や海外からのインバウンド受入体制を構築することで、より一層誘客を促進する。

(3) 中播磨地域活動交流メッセの開催 (ふるさと) 1,000 千円

地域の魅力発信、元気なコミュニティづくりに取り組む地域団体の活動発表・情報交換を通じて、地域づくり活動の活性化を支援する。

- ・ 時期、場所：平成 28 年 10 月 30 日（日）（飾万津臨港公園及びその周辺）
 - ・ 実施内容：地域づくり活動発表・展示、地域の特産品見本市 等
- ※姫路港ふれあいフェスティバルと同時開催

(4) 地域文化継承応援事業の推進【新規】 (ふるさと) 1,000 千円

地域団体が行う中播磨の伝統文化や郷土史、食文化など「地域の文化」を次世代に伝える事業に対して助成を行い、地域の賑わいづくりを支援する。

2 「銀の馬車道」プロジェクトの推進

第3次「銀の馬車道」活用推進計画（平成 28～32 年度）に基づき、中播磨の南北交流のシンボルプロジェクトとして銀の馬車道をブランド化し、地域外に発信することに重点を置きながら、交流の促進や観光の活性化、地域の元気づくりなどを進める。

(1) 「銀の馬車道」交流ゾーンの形成【新規】 (ふるさと) 2,666 千円

道の駅「銀の馬車道・かみかわ（仮称：平成 28 年度末オープンで調整中）」の敷地内で「マカダム式舗装道と走行する馬車」を復元するため、研究者等による「復元検討委員会」を設置し、学術調査の実施、復元内容の検討を行う。

これにより、観光客が「銀の馬車道の歴史に触れたい」「撮影して SNS 等で発信したい」と思えるような「銀の馬車道交流ゾーン」を沿線の市町が整備するきっかけづくりとする。

- ・ 明治時代のマカダム式舗装道、馬車等に関する学術調査
- ・ 設計図等の作成

(2) 銀の馬車道 140 周年・トリプル遺産達成記念イベントの開催【新規】

(ふるさと) 1,334 千円

銀の馬車道が完成以来 140 周年を迎えるとともに、今春に「日本遺産」に認定されると、すで

に認定されている「近代化産業遺産」「プロジェクト未来遺産」と合わせて「トリプル遺産」達成となることから、それを記念して、フランスとの交流等を発信するイベントを開催する。

- ・ 講演会、パネルディスカッション
- ・ 新種のバラ「銀の馬車道」発表会

(3) 銀の馬車道認定商品プロモーション【新規】 (ふるさと) 1,568 千円

銀を荷下ろしした後、播磨灘の魚が銀の馬車道を遡っていたというストーリーを打ち出し、「銀の馬車道グルメ街道」として食材の交流を図り、魅力あるグルメを開発するとともに、これまでのお土産品とあわせて銀の馬車道認定商品の一体的な販売プロモーションを展開する。

- ・ グルメ・お土産ガイドマップの作成

(4) 人情喜劇「銀の馬車道」の公演支援 (ふるさと) 1,000 千円

「プロジェクト未来遺産」審査時に高く評価された銀の馬車道劇団の取組みを発展させるため、地域の小学生が銀の馬車道劇団に参加して行う公演を支援する。

3 豊かな資源を活かした食と地域の元気づくり

豊かな自然や食文化など様々な地域資源を活かし、地域特産物のブランド化、魅力と活力のある地域づくりに取り組むほか、農林水産物の消費拡大や安定的な生産供給体制づくりを推進する。

(1) 中播磨の野菜増産大作戦 (ふるさと) 3,500 千円

生産技術や生産物の品質向上を図るため体系的な技術研修を実施するとともに、より鮮度の高い商品の提供と出荷調整ができる収穫から消費までのコールドチェーン化を構築し、周年生産や規模拡大に向けた生産基盤の整備を支援する。

(2) もち麦の機能性を活かした産地活性化【新規】 (ふるさと) 650 千円

生産性向上のための栽培体系の改良や、機能性食品としての用途拡大を図ることにより、もち麦産地のブランド力に取り組んでいく。

4 地域のものづくりを強化するための支援

中播磨地域に集積する産学官に係る資源の効果的連携を図り、大学、企業との新たな技術交流の促進や雇用機会の創出を支援し、地域のものづくり力などの一層の強化を図る。

(1) 中播磨の企業PR大作戦（U・J・Iターン対策）【新規】 (ふるさと) 5,300 千円

進学を機に県外、中播磨地域外に転出した学生等が、中播磨のものづくり企業等で就職するきっかけとなるよう、意欲的な中小企業、管内市町等とともに企業の現場視察ツアーや企業説明会を戦略的に展開する。

① 中播磨企業見学バスツアーの運行

中国・四国地方など近隣の大学で、兵庫県出身者の多い大学の理系学生をターゲットにしたバスツアーを実施する。

- ・ 企業の現場視察、先輩従業員との座談会、管内各市町による定住促進施策・魅力のプレゼンテーション、企業就職説明会 等

② 出張セミナー「中播磨企業魅力説明会 in 九州」の開催

九州地方など遠方の理系大学生をターゲットにした出張企業説明会を開催する。

③ 中播磨ものづくり企業紹介・帰ってこいメッセージの発信

中播磨のものづくり企業の紹介や、地元で働く魅力を本音で伝える「帰ってこい」メッセー

ジ集をWEBで発信するとともに、地元企業の会社案内資料をまとめた「中播磨企業ファイル」を作成し、大学のキャリアセンター（就職部）等に配布する。

(2) 産学官連携による「産業力」強化【拡充】 (ふるさと) 2,500千円

産学・産産連携を一層促進することで、中播磨のものづくり企業等の新たな技術開発、販路開拓等を支援する。

① 大学・企業・学生縁結び交流フェアの開催

- ・ 県立大学産学連携・研究推進機構コーディネーター（大学側）と、ものづくり支援センター播磨のコーディネーター（企業側）の目利き仲人により、ブース出展企業と県立大学の「縁結び」を実施
- ・ 取り引きのなかった県外大企業も新たに招致し、管内中小企業との商談会を実施
- ・ 中播磨の企業の技術力・ものづくり力をPRするプレゼンテーションの実施

② 県立大学研究室見学・交流ツアー（ラボツアー）の実施

産学連携を模索している企業が、県立大学工学研究室を直接訪問し、研究装置を見学しながら、研究内容をわかりやすく説明を受けるなど、大学研究を来て・見て・知ってもらうツアーを実施する。

③ 実践的ものづくりセミナーの開催

企業技術者のスキルアップのため、県立大学教員による最新ものづくり技術セミナー・実技演習を開催する

5 中播磨地域の元気、活力を支える道路網の整備

中播磨地域の元気、活力を支えるため、高速道路から生活道路にいたる道路網について、利活用の増進や中心市街地の形成などに重点を置きつつ、選択と集中により、効率的・効果的な整備を進める。

(1) 歩行者の安全性を高める道路整備

① 通学路の安全対策の充実強化

従来から実施している歩道設置に加え、平成24年4月の京都府亀岡市の事故を受け関係機関で実施した緊急合同点検の結果を踏まえ、通学路の安全対策を強化する。

- ・ (主) 三木穴栗線（福崎町大貫） 延長：0.5km 自歩道（W=4.0 m）
- ・ (主) 西脇八千代市川線（市川町上瀬加） 延長：1.2km 歩道（W=2.5 m）
- ・ (一) 長谷市川線（神河町比延） 延長：0.5km 歩道（W=2.5 m）

※自歩道等の幅員には、施設帯及び植樹帯を含む

(2) ストックの利便性を高める道路整備

① 交通結節点の整備

鉄道駅へのアクセスの向上と利用者の安全性向上のため、踏切拡幅やバイパス道路及び歩道を整備することにより、交通結節点機能を強化する。

- ・ (一) 甘地福崎線（福崎町福田） 延長：0.1km 自歩道整備（福崎駅）

※駅前広場を町が施行中

(3) 地方部の道路整備の推進

地域間交流や生活の基盤となる道路の重点的な整備を進める。

- ・ (一) 岩屋生野線（神河町岩屋） 延長：1.9km 道路改良

6 農林水産業の生産基盤等の整備

(1) 農業生産基盤の整備

農地の面的集積と、ほ場の大区画化を一体的に進めるほ場整備を推進するとともに、農業水利施設の機能が適正かつ持続的に発揮されるよう点検整備や補修に取り組むほか、防災対策として老朽化したため池等を改修する。

① ほ場整備【県営】 1地区

事業名	地区名	所在地
経営体育成基盤整備事業	あまじ区	神崎郡市川町甘地

② 基幹的用水路の改修【県営】 4地区（他 地域省略）

事業名	地区名	所在地
基幹水利施設ストックマネジメント事業	西光寺野Ⅱ期	神崎郡市川町西田中、下瀬加

③ ため池の改修【県営】 15地区（他 地域省略）

事業名	地区名	所在地
ため池等整備事業	馬場池	神崎郡市川町上瀬加
	浅野大池	神崎郡市川町浅野
	ジャク池・田圃池	神崎郡市川町小畑
	沢田池	神崎郡市川町西川辺
	(桜)上池	神崎郡福崎町高岡
	亀坪奥池	神崎郡福崎町大貴

④ 井堰の改修【県営】 3地区（他 地域省略）

事業名	地区名	所在地
農業用河川工作物応急対策事業	スガイ	神崎郡市川町上瀬加

(2) 林業生産基盤の整備

成熟した管内人工林資源を有効に活用し、持続可能な森林経営を構築するため、林内路網の整備や高性能林業機械の導入など林業生産基盤の整備を推進するとともに、適切な森林の整備を推進する。

- ・ 新ひょうごの森づくりによる森林の整備
間伐、作業道開設等を支援する。

Ⅱ 安全・安心とふれあいの地域づくり

1 安全・安心な地域づくりの推進

(1) 災害に強い中播磨の基盤整備

自然災害に対する安全・安心を確保するため、治水対策、高潮対策、津波対策及び土砂災害対策を進める。

① 治水対策の推進

エ 総合治水の推進

平成 25 年度に策定した「中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進計画」に基づき、河川や水路への雨水流出を抑制する「流域対策」、浸水時の被害を軽減する「減災対策」を組み合わせた「総合治水」を県・市町・県民の連携のもと推進する。

【モデル地区内】

- ・ イマ谷池における雨水貯留施設整備
水路区間の用地買収等を実施

② 土砂災害対策の推進

土砂災害から人命を守ることを目的に「山地防災・土砂災害対策緊急 5 箇年計画」（H21～H25）に基づき対策を実施してきた。引き続き「第 2 次 山地防災・土砂災害対策 5 箇年計画」（H26～H30）を策定し、事業推進を図る。

一方、土砂災害防止法に基づき市町の警戒避難体制整備の支援のため平成 18 年度から実施してきた土砂災害警戒区域（イエローゾーン）の指定については、概ね完了している。

平成 26 年度から土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の基礎調査を実施しており、平成 27 年度から順次指定を進めている。

ア 土砂災害対策の推進

第 2 次 山地防災・土砂災害対策 5 箇年計画に基づき、砂防堰堤及び急傾斜地崩壊対策を実施

- ・ 砂防えん堤：後尾川（市川町上牛尾）ほか 13 箇所で整備を進める。
- ・ 急傾斜地崩壊対策：鯉尾地区（姫路市夢前町鯉尾）ほか 8 箇所で整備を進める。

イ 土砂災害防止法にかかる指定

基礎調査が完了した地域から順次地元説明を行い、土砂災害特別警戒区域の指定を実施

- ・ H27 年度指定：姫路市安富町及び家島町の一部区域、神河町の一部区域
- ・ H28 年度指定予定：姫路市香寺町の全部区域及び夢前町、家島町の一部区域、福崎町の一部区域

ウ 流木・土砂流出防止対策

風倒木跡地などの荒廃林地からの流木・土砂対策を実施する。

- ・ 治山ダム：神河町寺前ほか 2 箇所で整備を進める。

エ 災害に強い森づくり（県民緑税事業）の推進

平成 28 年度から 5 年間延長された県民緑税を活用し、「緊急防災林整備」、「里山防災林整備」、「針葉樹林と広葉樹林の混交整備」、「野生動物共生林整備」、「住民参画型森林整備」などの事業メニューにより、森林の防災面での機能強化を早期・確実に進めるため、「災害に強い森づくり」を進める。

③ 老朽施設の適正な維持管理

社会基盤施設の老朽化対策は、県民の安全・安心の確保を図る視点から喫緊の課題となっていることから、平成 26 年 3 月に策定した「ひょうごインフラ・メンテナンス 10 箇年計画」に基づき、計画的・効率的な修繕・更新を推進する。

(2) 中播磨地域防災力の充実・強化

（ふるさと）524 千円

「ひょうご安全の日」前後の「中播磨地域防災講習会」の開催やフェニックス共済制度の加入

促進といった取り組みを通して、地域住民の防災・減災意識の向上を図るとともに、平成25年度に実施した「中播磨地域ひょうご防災リーダー講座」の修了生等に対しフォローアップ講座を実施することにより、地域防災リーダーとしてのスキルアップを図る。

(3) 地域医療を支える看護師確保支援 (ふるさと) 804千円

地域の医療を支える人材確保を図るため、課題を共有する看護協会、民間病院協会等との連携のもと、看護人材の確保に向けた就職説明会等を重層的に開催する。

また、在家庭の看護師の復職を支援するため、ハローワーク姫路や兵庫県ナースセンター姫路支所とも連携し、中播磨地域の病院が一堂に会してそれぞれの魅力を伝える「看護師病院合同就職説明会」とともに、専門学校や大学の卒業見込み者のニーズを取り入れた「看護師国家試験対策セミナー」や、看護師を目指して進学を考えている高校生や社会人対象の「看護系学校合同進学説明会」を併せて開催する。

	看護師病院合同就職説明会	看護系学校合同進学説明会
日 時	平成28年5月15日(日) 10:00～16:30	
場 所	イーグレひめじ あいめっせホール ほか	
主 催 等	兵庫県看護協会西播支部、西播民間病院協会、ハローワーク姫路、中播磨県民センター 等	
対 象	看護学生、(潜在)看護師	高校生、保護者、社会人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・中・西播磨圏域の病院説明 ・看護師国家試験対策セミナー ・再就業のための相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護系学校の説明 ・看護系学校進学ガイダンス ・病院奨学金制度の紹介

(4) うつ対策・自殺予防地域支援推進事業 (ふるさと) 648千円

若い世代へのメンタルヘルスについて関係機関のネットワークづくりを進めるとともに、「気づき・声をかける・つなぐ」を基本とした早期支援・早期受診ができる支援体制の拡充に加え、ハイリスク者への見守り支援強化を関係機関と検討し、うつ病の悪化や自殺の防止を図る。

(5) 認知症対策・地域包括ケアシステムの推進【拡充】 (ふるさと) 750千円

市町間の連携による効率的・効果的な認知症対策及び地域包括ケアシステム構築を行うために必要な調査を実施するとともに、市町・医師会・介護事業者・住民等を対象とした会議や研修会を開催するなど、広域支援を行う。

(6) 中播磨“はばたけ授産品コンクール2016”の開催等 (ふるさと) 1,200千円

管内の障害福祉事業所で生産する授産品のコンクールを開催し、選定された優秀作品をはじめ管内で生産される授産品について、県主催イベント等で配付するとともに、関係機関と連携し広くPRするなど、授産品の販路拡大を支援する。

(7) 中播磨地域ビジョンの推進 (ふるさと) 1,659千円

ビジョンの進捗状況や地域のよさについて地域全体で議論し、ビジョン委員活動の輪を広げることをねらいとして、県民参加型のフォーラムを開催する。また、第8期ビジョン委員会による実践活動の支援を通じて、より幅広く県民と地域ビジョンを共有する取組を推進する。

(8) 「中播磨縁結びキッチン」の開催【新規】 (ふるさと) 600千円

こうのとり大使による縁結び交流会をより一層効果的に実施するため、調理専門学校(みかしほ学園)とタイアップし、独身男女が料理教室を体験しながら交流する婚活イベントを開催する。

(9) 中播磨地域づくり活動応援事業の推進

(ふるさと) 6,000 千円

地域団体等が実施する地域の課題解決につながる取り組みや団体の活性化のために行う取り組み(県民提案型協働事業)を支援することにより、地域を活性化し、まちの賑わいづくりを推進する。

(10) 次世代(若者)の消費生活力向上支援

(ふるさと) 667 千円

社会経験の乏しい若者の消費者被害を未然に防止し、拡大を防ぐため、大学生・専門学校生・特別支援学校高等部を対象にした消費者教育を実施し、消費者力アップを図る。

(11) ため池安全・安心定期点検の推進

(ふるさと) 3,500 千円

ため池管理者に対して「ため池安全安心定期点検事業」の重要性を周知し、ため池管理者自らのため池管理能力の向上を図るとともに、「ため池事故ゼロ」大作戦として、小学生を対象にため池の危険周知及び注意喚起を行う。

(12) 野生鳥獣の被害対策の推進

野生鳥獣による農林業被害が深刻化、広域化しているため、捕獲による個体数管理、防護柵設置、生息環境改善などの総合的な取り組みを進める。

① シカ、イノシシ対策

- ・ 防護柵の設置の推進【設置計画：14,000 m】
- ・ 狩猟期シカ捕獲拡大事業、シカ有害捕獲促進支援事業、シカ有害捕獲専任班支援事業等によるシカ捕獲の推進【捕獲目標：2,500 頭】
- ・ シカ肉処理加工施設等によるシカ肉有効活用

② サル対策

神河町において、生息3群の各群に対応した適正捕獲と、防護柵設置及び集落環境づくり等の総合的な被害対策を推進する。

- ・ サル出没対策事業による捕獲【捕獲目標：40 頭】
- ・ サル監視員配置支援事業によるサル監視員の設置【1 名】

③ その他

- ・ 特定外来生物対策
近年、被害が急増しているアライグマやヌートリアについて、市町防除実施計画に基づき可能な限り捕獲を推進する。
- ・ 野生動物共生林の整備
「人と野生動物の棲み分けゾーン」を設置するため野生動物共生林を整備し、農産物等の被害を軽減する。【整備造成：6 箇所】

2 自然とのふれあいを通じた環境学習・環境保全の推進

(1) 自然環境を活用した環境学習の推進

(ふるさと) 420 千円

感性豊かな子どもの時期から環境に対する関心を高め、環境を大切にすることを育むため、中播磨地域の豊かな自然を活用した「自然環境学習キャンプ」を実施する。

(2) 「みんなのため池」推進事業の実施

(ふるさと) 600 千円

地域の小学生や住民等を対象とした学習会等を通じてため池が担う役割等について理解を深めるとともに、ふるさとの重要な施設として保全する体制整備を図るため、ため池の生物観察や希少生物の保全活動、小学校と連携した池干しなどの体験学習会など(みんなのため池教室)を実施する団体を支援する。【実施箇所：4 箇所】

(3) 生野ダム小水力発電事業の実施

ダムの高低差(約 38.4 m)を利用し、年間約 2,400MWh(約 700 世帯分の年間消費電力量に相当)の発電事業を行う(平成 29 年度発電開始予定)。



東 奔 西 走 (活動日誌)

1月 4日	兵庫県新年交礼会、幹事団当番、自民党幹事長協議：神戸、福崎町Y氏との県政相談：福崎町
5日	福崎町長との懇談、福崎土木事業所長との意見交換：福崎町
6日	新年度予算関係政務調査会、連合兵庫旗開き：神戸市
7日	新年度予算関係政務調査会：神戸市
8日	新年度予算関係政務調査会、議運小委員会（選挙期日）：神戸市
10日	神河町成人式：神河町、市川町消防団初出式、成人式：市川町
13日	県市町振興課長との協議：神戸市、神崎郡百花繚乱の会：市川町
14日	幹事団当番：神戸市
15日	神河町老人クラブ連合会新年交礼会、碧河舎実行委員会：神河町
16日	中播磨ひょうご安全の日のつどい：神河町
17日	ひょうご安全の日のつどい：神戸市
18日	建設常任委員会、議運、幹事団会議、団総会：神戸市
19日	市川町S氏との県政相談：市川町
20～22日	建設常任委員会管内調査（但馬・丹波）
25日	議運、幹事団会議、団総会、建設常任委員会、当局レク（多文化共生）
26日	福崎町豊国まちづくり課長との意見交換：福崎町
27日	姫路農業改良普及センターとの意見交換会：神河町
28日	幹事団当番：神戸市
29日	橋本福崎町長外との意見交換会：姫路市
30日	山口つよし衆議院議員を励ます集い：姫路市
2月 1日	議運、幹事団会議、団総会、臨時議会、建設常任委員会：神戸市
3～4日	建設常任委員会管内調査（阪神）
5日	福崎・神河町長との山口衆議院議員・総務省・国交省陳情：東京
6日	岩見市川町長新年のつどい：市川町
8日	会派代表者会議：神戸市
8～10日	会派管外調査（東京・千葉）
11日	神河町人権啓発講演会：神河町
12日	議運、代表者会議、議運小委員会、幹事団会議、団総会、当局レク（新年度予算）、予算委員と幹事団会議：神戸市
15日	行財政構造改革会議：神戸市
16日	建設常任委員会、寺前小学校県庁見学：神戸市
17日	豊国まちづくり課長との意見交換：福崎町
18日	定例議会初日（提案）、議運、幹事団会議、団総会、議場コンサート：神戸市

19日	郡区長会長会要望会：神河町
21日	市川マラソン：市川町、神河町シニアカレッジ芸能発表会：神河町
22日	幹事団当番：神戸市、加古川釜谷県議事務所要望：加古川市
23日	本議会2日（追加提案）、議運、代表者会議、幹事団会議、団総会：神戸市
24日	本会議3日（代表質問）：神戸市
25日	本会議4日（一般質問）、市町振興課長と神河町協議：神戸市
26日	本会議5日（一般質問）：神戸市
27日	福崎高校卒業式：福崎町
29日	本会議6日（一般質問）、団総会：神戸市
3月 1日	本会議7日（一般質問）、予算特別委員会、議運、幹事団会議、団総会：神戸市
2日	建設常任委員会、予算特別委員会：神戸市
3日	本会議8日（表決）、議運、議運小委員会、幹事団会議、団総会、スポーツ振興議員連盟総会、関西広域連合議会連携協議会：神戸市
4日	予算特別委員会（財政）、県商工会議所連合会との県・県議会・与党3会派幹事長会議：神戸市
5日	連合兵庫春季生活改善総決起集会：神戸市
6日	神河町体育協会10周年記念集会・講演会：神河町
7日	予算特別委員会（企画県民部・部局外）：神戸市、播但道管理事務所長意見交換、志水福崎町議他との県政相談：福崎町
8日	予算特別委員会（健康福祉部・病院局）
9日	予算特別委員会（産業労働部・労安委員会）
10日	予算特別委員会（農政環境部）、予算委員会と幹事団会議：神戸市
11日	予算特別委員会（県土整備部・企業庁）
12日	神河町民ゴルフ大会：神河町
14日	予算特別委員会（教育委員会）、上田中地区県道立会：市川町
16日	予算特別委員会（総括質疑）：神戸市
19日	神崎郡3町ゴルフ交流会：神河町
22日	本会議9日（表決）、建設常任委員会、議運、幹事団会議、団総会：神戸市
23日	建設常任委員会：神戸市
24日	本会議最終日（表決）、議運、議運小委員会、幹事団会議、団総会：神戸市
28日	幹事団当番：神戸市



皆さまの県政に対するご意見をお聞かせください。

たくさんのご意見をお待ちしています。事務所へもお気軽にお立ち寄りください。

《連絡先》

上野ひでかず事務所

〒679-2204 神崎郡福崎町西田原1212番地4 2F

TEL/FAX (0790) 22 - 6805 E-mail/kanzaki.gun@gmail.com